

会員だより

多勢の卒業生がそれぞれ全国各地で活躍されていますが、会の方にお便りのあった方々の消息をここにのせました。会員全体からするとほんの一部に過ぎませんが、今後この欄を続けたいと思っておりますので折を見て近況などをお寄せ



青葉会旧役員諸氏

下さい。
○諏訪キミ(昭和一〇卒業)
十年一昔と申しますが、想い出したら戦後から此の年に成るまで仕事に追われ、今頃になって古い校舎の中を今一度歩いて見たかったと想いを昔に戻しております。
六年生の四月から赤羽小学校に転校して、お隣の学校に昼給仕に、後に販売部、夜学卒業後は夜学の事務のお手伝いと朝家を出て眠りに帰るまで第六にいたわけで今でも私

の目の中で第六の隅から隅まではっきり見えます。先生方のお席の順に名前も浮びます。五十周年ぜひとも出席したいと思いましたが、嫁がお産の為帰りましたので残念でした。
○皇美代子(昭一四・乙組)
久喜市立久喜中学校勤務
○斎藤輝子(昭一七・一部)
キャノン株式会社勤務
○田崎泰子(旧田治)
(昭一七・一部)
今私は保母をして居ります。夜学でしたが女学校卒業という資格のおかげです。亡くなられた丸山先生に感謝の気持ちでいっぱいです。
○安藤節子(昭一八・二部甲)
宮崎県大河原町立小学校勤務
昭四五年六月文部省派遣による海外視察(ヨーロッパ方面)に参りよい経験させていただきました。
○大久保さわり
(昭一八・二部甲)
藤沢市会議員を一期つとめられ、昭和五十四年地方選で神奈川県議員に当選されました。
○坂井和子(旧多田)
(昭一八・二部甲)
日野市立南平小学校勤務
○原田八重子(昭一七・二部)
国分寺市立第五小学校勤務
○小曾根愛子(旧和川)
(昭二〇・一部)
君津市立坂畑小学校勤務
○竹内くに江(昭二〇・二部)
主婦の支社勤務
○高橋春穂(旧内海)
(昭一九・四組)

記念式・祝賀会 参加者調べ

卒業年	参加者数	卒業年	参加者数
昭和8年	2名	昭和30年	3名
9	0	31	0
10	4	32	7
11	0	33	1
12	0	34	8
13	1	35	7
14	10	36	12
15	0	37	1
16	7	38	12
17	11	39	6
18	31	40	11
19	14	41	35
20	6	42	15
21	0	43	14
22	0	44	15
23	0	45	8
24	0	46	4
25	1	47	2
26	1	48	4
27	1	49	0
28	0	50~54	12
29	22	合計	289

週三日ピアノ音楽教室講師(二俣川)自宅でも二十名位教えています。
○井口節子(旧井上)
(昭二九・四組)
私共四組は大変仲良かったのしかった高校時代をおもいつつペンをとっています。主人の仕事の関係で宇都宮に参りまして二年余り、いづれ東京に帰ります。
○佐久間悦子(旧石川)
(昭二九・四組)
東京地方貯金局(台本区蔵前)勤務。
○大森和子(旧森川)
(昭三二・三組)
子供(高一・中二)の手がはなれたので近所でパートタイムで働いています。北原三代子先生にお逢いしたいと思えます。
○矢野光子(旧小野沢)
(昭三四・二組)
岩波書店勤務
○松田松夫(昭四二・一組)
日本航空勤務

○滝口哲夫(昭四二・二組)
西独フランクフルト在住
オリエントコーポレーション支配人。
○小林良雄(昭四二・二組)
フランス女性と結婚一女あり、パリ在住、本年四月次の便あり。
新学期になり多忙の事と思えます。TBSテレビ番組の制作のためアネに米ております。空気がおいしく、都会に生活するのが馬鹿らしくなります。
○中山市太郎(昭四三・一組)
「知られざる世界」TVディレクター。
○佐藤茂利(昭四六・二組)
役員の方々は色々とお苦勞ですが、何かと連絡を貰っていても何せ遠いので(宮城県桃生町)足をはこばせんと。次回にはぜひ出席したいと思っています。
○西條明彦(昭五〇・一組)
ピーコックエレメント製造株式会社九州営業所長。

病院用経管チューブ食・濃厚流動食等特別配合食品及びFood Supplement製造卸

サンコーパック株式会社

代表取締役 川上忠重 (昭和30年卒)

東京都新宿区四谷1丁目3番地

〒160 TEL 03-357-7730 (代)

会員名簿(昭和五十四年度版)についてのお詫び、その他
会員名簿作成経過については、昨年総会の際に報告いたしました。何にしても少数でばう大な資料に取組んだ訳で不十分な処が沢山あり、会員の皆様にご満足いただけなかった面が多々あること、思っています。特に昭和二十五年旧制高女卒業の皆さんについては、弓良義智恵(旧姓青木)様から五十四年三月に同期会名簿を受領し、「ごまがき」など諸連絡をとっていただきながら、名簿の方には転記しないうままであったこと深くお詫び申し上げます。役員会で改訂版のことを考えて居りますので次回には、その後の住所変更や新たに判明したものと共にのせるようにいたします。

学年会をもって
41年卒 佐瀬耕一
昨年のお正月に徳江君から年賀状をもらいました。その後、仕事のことで会い、なにかやと話しをする中で、私たちの学校が五十周年を迎え、石関先生が責任者として同窓会名簿の作成に取組んでいると聞き、先生に会いたい一心で学校まででかけて行きました。
学校は立派になって昔の面影はまったくなく、なんとも落着かない感じが寂しい気がしましたが、石関先生や尾本先生に会えて、そんな感傷的な気分もすぐすつとでしまいました。
それから他のクラスの吉沢君や増田さん(旧姓)たちに連絡をとり、住所を確認するなかで同窓会の後、学年会を開こうということになりました。
私たちの学年の名簿は一番正確だと思えます。
学年会には五十名集まりました。
卒業して十年以上過ぎていのに、そんな歳月の流れなごまごま感じられない集まりになりました。
岡部先生の少しも変らない若々しさに圧倒されたことも云っておきたいと思えます。